

特定非営利活動法人 ヒマラヤの星たち 設立趣旨書

ネパールは南アジアの内陸に位置し、国土の8割が山岳・丘陵地であり、多民族で構成される後発開発途上国です。2020年から続くパンデミックはこの国の経済に深刻な打撃を与えました。都市と農村の経済格差はますます拡大し、農村部は生活環境の劣悪さに加えて教育・医療・福祉などの行政サービスを十分に受けることができません。とりわけ、国の将来の担い手でありまた社会的弱者である子どもは、貧困社会で未就学、疾病、早期婚、児童労働や人身売買等の危険にさらされています。

この法人は、貧困と社会的疎外に苦しむ子どもに、生計、健康、生活環境の向上を通じて困難な状況から脱出できるよう、コミュニティ、学校および支援機構等を包括的に支援する事業を行い、子どもの健全な生育に寄与することを目的とします。

なお、ネパールの法制度に鑑み、企業や任意団体では活動に制約が生じて所期の目的を達成するには困難が伴い、また同国内で活動する多くのNPO法人との協働関係を築いて更なる活動成果を期待すべく、さらに、経理等の事務が適切であることを目指して公開することで透明性を高めるため、NPO法人を設立します。

令和 5年 5月 6日

法人の名称 特定非営利活動法人 ヒマラヤの星たち

設立代表者 菅沼 一夫